

本音で座談 「南無阿弥陀仏で本当に救われる？」

2017/12/4 開催
第4回 「推進員の集い」

お話 澤田秀丸 先生

本誌推進員スタッフが先生のお話を振り返ってみました。



老人にも価値がある！

A. 一番最後に先生がおっしゃった「老人には老人の価値がある」って。これ、自分にピタッときた。本当に僕はこれが一番心に響いたので。
B. 「卑下するな」とも、おっしゃってくれました。
C. 先生が園長を勤めてた保育園で、引き受けた目が全く見えない子のお話の続きでしたよね。

事務局（フートをしながら）

「ある日先生が『リュウくんお早う』って声かけたら、『園長先生お早う』と、リュウくんが近づいて来ました。そして、周りの子たちが自然におもちゃを片付けて道を作ってくれます。目の見えない子が歩いていたら、何かその子を助けることになるのかちゃんと子どもたちはわかっているのです。それを自然とリュウくんという存在が子どもたち

っていたと、気がつきました。

B. 私も主人が亡くなったたてよ、その当時、息子が「お父さんいろんなことしてくれてた」と言いましたね。それでも、娘に比べたら口に出さないうです。
D. 口にしてくれないとわからないのね。

A. しかし、つくづく思うね生きてる価値って何だろう。

一人ひとりの宿題？

C. 法話は、いつも問いかけだけでわからんようになる。もうちょっと具体的なことを言ってくれないと我々では判断できないでしょ。いつも、話がそこで止まる。

D. もうちょっと聞きたかったね。時間が短かったかな。

B. はっきりした答えはないのじゃない。任せますということだと思えます。

E. 皆さんの頭で考えてくださいというものが法話だと思っただけだね。

B. 一人ひとりの宿題なんでしょうね。それをどう受け取るかが問題なのですよ。
D. うーん。同じ話を聞いても皆、受け取り方とか違いますよね。

南無阿弥陀仏の意味

E. 私は、先生の話は順序立てたお話だったと思います。まず、最初に念仏とは南無阿弥陀仏だとおさえられた。そして南無阿弥陀仏とは名前であって、名前には「はたらき」があると聞きました。それから、南無阿弥陀仏の解説です。

南無阿弥陀仏を元の言葉になおすと、南無は、ナマスでお任せという意味。阿弥陀は、アミターユスとアミターバの二つの言葉が元。ここで、アは無、ミターは量でユスは寿命。だからアミターユスは無量の（永遠なる）寿命。アミターバは、無量の光という意

に教えていたのです。

ところが、私たちは目の見えない子を『かわいそう』と見下してないですか。人を見れば価値があるとかないとか決めつけていないですか、それを照らしてくださるのが南無阿弥陀仏の光。南無阿弥陀仏は私の愚かな思いを照らしてくださるのです。『一切の

第4回「推進員の集い」 澤田秀丸先生のお話の様子



味になる。そこから、全てのものには寿なる（阿弥陀の）命がある、だから石にも価値があるということですよ。

だから、それぞれに価値があります、その価値を大事にしましょうということですね。

A. うーん正直、よく分からないところがたくさんある。

のには素晴らしい価値があるのです』と教えてくださるのです。』の続きです。

D. 確かに「一切のものには素晴らしい価値がある」という言葉は心に染みるね。

私の価値？

A. 私の価値は何でしょうな。もう一回自分を思い返して、私には一体どういう価値があるのかゆっくり考えないと。ぼやっとしてでは、だめですな。

E. ほんと、私もそれは思います。先生は、石には石の価値がある、それは重さだっておっしゃってましたよね。石の価値が重さって、すごく新鮮でした。

C. 「私の価値って何？どう思ってる？」って、一回息子に聞いてみようかな。

D. 私は、親父がいる時は何でも反対ばかり。だけど亡くなって初めて、楽させてもら

もう少し聞かないと！

D. 南無阿弥陀仏、とお念仏を称えてますけど、そこまで真剣に考えたことないわ。

C. 朝晩正信偈で拝んでいますけど、僕は親鸞聖人、阿弥陀様がどうこうじゃなくて、そこに家内がいるからです。

いい格好じゃなくて、正直はそうと違いますか。

B. お経あげたら、なんだか気持ちが悪いです。

でも、主人、夢にも出てこないのですよ。ちゃんとお参りしているのに。

A. もうちょっと聞きたいね。どうもはつきりしない。

全員. やっぱりそれしかないですね。

恩徳讃斉唱

座談会メモ
日時 二月十五日（木）午後五時から
会場 堺支院

なお、発言の重複を考慮しお名前ではなく記号の表記としました。
また、一時間にわたる自由な発言を事務局がまとめました。